



春季相談員研修会 3/11

この3月から、本会のスーパーバイザーをお願いした名古屋在住の前島美津枝氏を講師にお招きし研修会を開催しました。大変有意義な研修であったとの声が多かった。

(1) 井出代表の相談事例指導

① 事柄に関わりすぎている。感情・気持ちに関わるように。

相談者がどのような状況に置かれ、どのようなことに悩んでいるのか、どんな助けが必要なのかということを知ろうとして、質問しすぎている。

② 気持ちを表すことば「親が許せない」「えっ親が許せないんですか」と相談者の気持ちを引き出すように反応していくことが大切。

③ 相談者をほめて自己肯定感を高めるようにする。

気付いて電話をかけてくださった

あなたは虐待を受けたのに、お子さんはりっぱに育てている

③ 同情・同感ではなく共感するように

「わかる、わかる」「私もそう思う」「私もあった」ではなく「あなたはそう思ったんですね。よく耐えてきましたね」

(2) 10代性虐待を受けている女性の相談事例指導

① 作話を見抜き、実生活に関する具体的な質問により現実に戻すようにする。

袋井市4区児童民生委員研修会にて講演



4区の山本会長は挨拶の中で「児童虐待は身体的、心理的、性的虐待、ネグレクトなどがあり件数が増え続けている。」と話された。また、正面には作りたてののぼり旗を立てかけてあった。これらのことから4区の児童虐待防止に対する取り組みへの並々ならぬ力の入れようを感じた。



質問も「個人情報保護のために子供の情報が得られないがどうしたらよいか」「現象面はわかったが、根本の対策はどうなっているのか」といった深いものであった。

今回の講演は、石野さんの働きかけで実現した。袋井では、今後街頭でビラ配りを実施する予定となっている。その折は、わたしどもも参加できたらありがたい。